

加工・業務用キャベツの11月から5月どりの各作型に適する品種

11月から5月どりの各作型に適する品種を利用することで、品質の高い加工・業務用キャベツを出荷できる

背景・目的

- ・本県では冬期温暖な気候を利用した加工・業務用の冬～春キャベツの生産量が伸びている
- ・加工・業務用キャベツは、大玉で在圃性に優れ、内部障害の発生が少なく、カット野菜への加工後もボリューム感が損なわれず、ドリップが少ないものが求められている
- ・加工・業務用キャベツ栽培の各作型に適した有望品種を選定し、継続的定質栽培技術を確立する

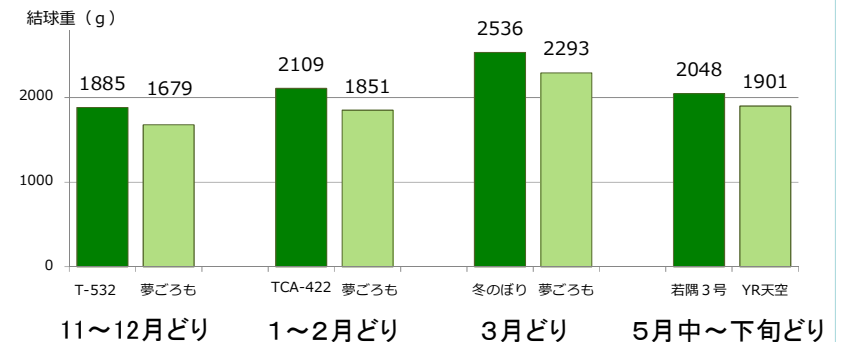
成果の内容

加工・業務用キャベツの各作型に適する品種

作型	品種名 (系統)	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
11～12月 どり	T-532 (寒玉系中生種)	○			◎									■	■	■															
1～2月 どり	TCA-422 (寒玉系中生種)	○			◎												■	■	■												
	夢ごろも (寒玉系晩生種)	○			◎												■	■	■												
	夢舞台 (寒玉系中晩生種)	○			◎												■	■	■												
3月 どり	YR銀次郎 (寒玉系中生種)	○			◎												■	■	■												
	青龍345 (寒玉系晩生種)																														
	冬くぐり (寒玉系晩生種)				○	○	○	◎	◎	◎																					
	冬のぼり (寒玉系晩生種)				○	○	○	◎	◎	◎																					
5月中～ 下旬どり	若隅3号 (寒玉系中早生種)										○			◎															■	■	■
	おきな (寒玉系早生種)										○			◎															■	■	■

○：播種期，◎：定植期，■：収穫期

適品種は既存品種よりも大玉で、収量増加を見込むことができる



導入メリット

注1) 各作型の既存品種は、「鹿児島県野菜適品種一覧表」より選定

注2) 参照データ：大隅支場秋冬作野菜試験成績書より

11～12月どり；平成28年度，1～2月どり；平成26年度
3月どり；平成26年度，5月中～下旬どり；平成29年度

期待される効果

・実需者ニーズに対応した加工・業務用キャベツの継続的安定生産と生産農家の経営安定

普及対象・範囲
加工・業務用キャベツ生産者

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場園芸作物研究室